

公益財団法人京都市芸術文化協会
平成28年度 事業計画

I 自主事業

当該事業は、会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業であり、この事業を通じて、各分野における会員の拡大と芸術文化の普及・振興を図ることとします。

1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

(1) 機関誌『藝文京』及び広報パンフレットの発行

芸文協創立35周年記念号として、当協会の歩みを振り返るとともに、会員の活動を広く発信する冊子を平成29年3月に発行します。

また、「京の文化絵巻」の開催に先立ち、総合パンフレット等を作成します。

(2) 協会ホームページの運営

協会ホームページの運営を通じ、自主事業や会員催事情報等の告知、資料の公開など、芸術文化に関する情報発信を行います。

2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

(1) 芸文協創立35周年事業の実施

ア 京の文化絵巻 I

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
9月11日	～花鳥風月～ ※ロームシアター京都 オープニング事業	舞台部門をはじめ、多くの分野の会員により、新たな文化の交流を生み出す舞台公演 料金：前売2,500円 当日3,000円	ロームシアター京都 サウスホール

イ 京の文化絵巻 II

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
10月22日 11月13日 12月18日	～The Talk～	京都の芸術文化の魅力や展望を伝えるトークイベント 出演：芸文協会員・役員ほか 入場無料	京都芸術センター 大広間、ミーティングルーム2
1月10日 ～29日	～The Exhibition～	造形部門の会員による二人展 出展：村山明、伊勢信子 入場無料 ※ 藝文京展と同時開催	京都芸術センター ギャラリー北・南
1月21日	～The Tea～	「明倫茶会」との連携企画 席主：茂山あきら 料金：1,000円	京都芸術センター 大広間
1月22日	～The Symposium～	テーマ：美しい暮らし、文化の底流 ～子どもたちに伝えたい京都 基調講演：近藤誠一 パネラー：片山九郎右衛門ほか 入場無料	京都芸術センター 講堂

ウ 各種芸術文化事業

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
4月17日	京都民謡まつり ※ロームシアター京都 オープニング事業	出演：伝統芸能分野会員ほか 料金：前売2,300円 当日2,500円	ロームシアター京都 サウスホール
11月20日	深川秀夫版 「白鳥の湖」全幕公演 ※ロームシアター京都 オープニング事業	演出・振付：深川秀夫 指揮：園田隆一郎 演奏：京都市交響楽団 出演：洋舞分野会員を含むオーディション で選ばれた京都ゆかりのダンサーほか 料金：SS席6,000円ほか	ロームシアター京都 メインホール
1月29日	京都ビッグ・バンド・ フェスティバル	出演：洋楽分野会員ほか 料金：前売1,000円 当日1,200円	京都コンサートホール 大ホール

(2) 各種芸術文化事業の奨励(後援・共催)

会員が実施する事業に対して、後援・共催等の支援を行います。

3 芸術文化に関する教育及び普及

例年好評の子ども芸術体験教室を、夏休み・冬休みの時期に実施します。

開催日	事業名称	講師等	会場
7月23日 ～31日	夏休み 邦舞体験教室	講師：邦舞分野会員 ※成果発表を8月7日に芸術センターで行います。 (邦楽と同時開催)	京都芸術センター フリースペース
7月25日 ～8月5日	夏休み 邦楽体験教室	講師：邦楽分野会員 ※成果発表を8月7日に芸術センターで行います。 (邦舞と同時開催)	京都芸術センター 大広間ほか
7月26日 ～8月3日	夏休み 能楽体験教室	講師：公益社団法人能楽協会京都支部 ※成果発表を8月4日に大江能楽堂で行います。	京都芸術センター 大広間ほか
1月上旬	冬休み 芸術体験教室	講師：各分野会員 ※具体的な実施コース等については検討中です。 ※作品展を1月中旬頃に京都芸術センターで行い ます。(一般向けの芸術体験教室と同時開催)	京都芸術センター ミーティングルーム2

4 芸術家等の育成及び顕彰

(1) 芸術家等の育成

次代を担う芸術家育成等のため、展覧会を実施し、発表の機会を創出します。

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
6月3日 ～5日	京都いけばなプレ ゼンテーション2016	華道分野会員によるいけばな展示とワーク ショップなど	京都芸術センター 講堂、大広間ほか
1月10日 ～29日 (予定)	藝文京展2017	書を対象とする全国公募展 応募登録期間：10月上旬～12月下旬 審査：1月上旬 ※ 京の文化絵巻Ⅱ～The Exhibition～と同時開催	京都芸術センター フリースペース、 ミーティングルーム2

(2) 芸術家等の支援

当協会に所属する会員を対象とし、京都市芸術文化協会賞として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、また、同新人賞として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を、それぞれ表彰します。

5 総会・懇親会

平成28年7月7日(木)に会員総会・懇親会を開催します。(会場：京都ホテルオークラ)

Ⅱ 受託事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「京都文化芸術都市創生計画」や「京都文化芸術プログラム2020」に基づく事業を受託し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施することで、京都市の文化芸術行政の一翼を担います。

1 市民狂言会

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館と金剛能楽堂を会場に開催します。(5月27日、8月19日、12月2日、3月3日)

※ 前売2,500円 当日3,000円 年間席札8,000円 (8月19日のみ高校生以下500円)

2 京都文化芸術プログラム2020関連事業

(1) ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業

京都市内の小学校等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。

平成28年度は、伝統芸能、伝統文化の分野を中心に約45校で実施します。

(2) 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる場所(能楽堂や歌舞練場等)において、伝統芸能を鑑賞する事業を実施する予定です。

(3) アーティスト・イン・レジデンス関連事業

京都市からの受託事業として、京都市内及び国内外のアーティスト・イン・レジデンスとのネットワーク構築のための事業を実施します。シンポジウムなどを開催する予定です。

3 東アジア文化都市2017の京都開催に向けたプレ事業、オープニング事業

日本、中国、韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市が様々な芸術による交流を通じて相互理解と連帯の形成を進める事業です。平成29年度の日本の開催都市は京都市に内定しており、京都芸術センター等を会場に幅広く文化芸術を発信する予定です。

平成28年度は主に準備と調査を行います。

4 助成関係事業

(1) 京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務

(2) 京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務

(3) 文化芸術顕彰制度 表彰業務

5 その他

(1) 京都市新規採用職員研修

京都市の新規採用職員の研修として、茶道の講義と体験を実施します。

(2) 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」関連事業

公益財団法人札幌市芸術文化財団からの受託事業として、創生劇場「Traditional Trial～能、狂言プラス～」公演を実施します。

開催日	内容	出演	会場
6月22日	能+現代美術『noh play』 狂言+落語『神棚』 *23日14:00～仕舞体験 ワークショップも開催	浦田保浩、浦田保親、林宗一郎、片山伸吾、田茂井廣道、ヤマガミユキヒロほか 茂山正邦、茂山茂、茂山童司、桂よね吉ほか	札幌市教育文化会館 大ホール

Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術に関係する者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行っており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として引き続き管理運営を行っています。

【活動センター機能】

1 伝統的芸術の継承・創造事業

(1) 明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を5回開催します。(料金：1,000円)

開催日	席主	内容
5月22日	長艸敏明 (長艸繡巧房 主人)	抹茶
1月21日	茂山あきら (狂言師) ※芸文協創立35周年記念事業	未定

その他については、打診・調整中。

(2) 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」

京都の歴史を彩り都市の資源ともなっている伝統文化や伝統芸能を、市民や観光客が気軽に鑑賞し、それらに身近に触れる機会を提供する様々な事業を平成24年度から引き続き、京都市との共同事業で実施しています。

ア 創生劇場公演

国内の貴重な伝統芸能・文化を発信し、将来に継承する拠点施設となる「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」の誘致を目指し、モデル事業として実施している事業。既存の分野や流派を越えた若手伝統芸能家を中心に、歴史に培われた伝統の中に新しい魅力を生み出す、独創的かつ意欲的な舞台を創造・展開しています。

開催日	内容	出演	会場
11月26日	創生劇場「Traditional Trial～KAGURA～」	戯曲：いしいしんじ 舞台美術：杉原邦生ほか *演出家、出演者は現在調整中	ロームシアター京都 サウスホール

イ 伝統芸能ことはじめ

伝統芸能を楽しむため、テーマを決めてわかりやすく解説する講座を6回実施します。講師の目線を通して伝統芸能の幅広い興味の裾野を広げていくことで、観客育成を担います。

開催日	演目	備考
6月11日	歌舞伎や落語に通じる演目を一つ取り上げ、幅広く紹介。素謡の会と同じ演目を取り上げるなど、連携する予定。	講師：小林昌廣 (情報科学芸術大学院大学教授) 会場：大広間 料金：無料 *ゲストに木ノ下裕一を予定
7月10日		
9月11日		
12月10日		
1月7日		
3月5日		

ウ 月イチ☆古典芸能シリーズ

月に一度、古典芸能や文化に触れ、体験する企画をシリーズで開催します。計12回。舞台を支える人材や道具をつくる職人、日本独特の慣習や文化など、舞台の裏側も含めて紹介し、体験することで古典芸能への興味を深めます。

エ 札幌市からの受託公演（再掲）

札幌市芸術文化財団からの受託事業として、創生劇場「Traditional Trial～能、狂言プラス～」公演を実施します。

開催日	内容	出演	会場
6月22日	能+現代美術『noh play』 狂言+落語『神棚』 *23日14時から、仕舞体験 ワークショップも開催	浦田保浩、浦田保親、林宗一郎、 片山伸吾、田茂井廣道、ヤマガミ ユキヒロほか 茂山正邦、茂山茂、茂山童司、桂 よね吉ほか	札幌市教育文化会館 大ホール

2 芸術家・芸術関係者育成事業

(1) わざゼミ

伝統工芸の知識や手法を習得するためのレクチャー、実習等を組み合わせた初心者向けのワークショップを開催します。平成28年度は、染織のジャンルで行います。また、伝統工芸の文化的背景と歴史を学ぶ講座を実施します。

(2) トラディショナル・シアター・トレーニング (T.T.T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能、狂言及び日本舞踊に関する基礎知識・技術等を習得してもらうためのプログラムを実施します。

平成28年度は、能、狂言及び日本舞踊等のオリエンテーションとワークショップ（7月19日）の後、各コースに分かれトレーニング（7月20日～8月12日）を行い、大江能楽堂で成果発表（8月13日）を行います。

<対象> 演劇・ダンスなど舞台芸術に関わる表現活動、または研究活動を行っている者

<定員> 24名（日本舞踊・能・狂言 各8名程度）

<講師> 能：片山伸吾・田茂井廣道・大江信行

狂言：茂山あきら・茂山童司・丸石やすし

日本舞踊：若柳弥生

※ プログラム・ディレクター：マシュー・ショアーズ

<受講料> 一般70,000円（各種特別割引あり） 学生50,000円

(3) アートマネジメント人材養成プログラム ※新規

文化関係施設に所属する方や、将来文化関係施設等での活動をめざす方を対象に、実践的な研修を実施します。

(4) KAC Performing Arts Program 2016

ジャンルで区切ることが難しい新しい表現や、クロス・ジャンルの表現を積極的に創造し発信することを目指します。

ア Contemporary Dance

開催時期	事業名	内容
4月22日～5月8日 *オーディション やショーケースも 重ねて開催。	京都国際ダンスワーク ショップフェスティバル 2016	平成27年まで発表支援事業として開催してきたフェスティバル。ルイス・ガレー、セレノグラフィカなど新たに講師を招き、主催として開催。ダンスアンドエンヴァイロメントと連携。
	ダンスワークショップ、 公演	

イ Contemporary Theater Program

開催時期	事業名	内容
11月、12月を予定	演劇計画Ⅱ -俳優、演出家育成-	関西の若手演劇人を育成するワークショップ及び公演を実施予定。加えてリサーチも含めて関係者へのヒアリングも行う。
7月30日～8月13日 *最終日に成果発表	演劇ワークショップ	トーマス・リーブハート（アメリカ）を講師に招き、コーポリアルマインを学ぶ2週間集中ワークショップ。アトリエ劇研と連携。

ウ Music

「声」をテーマに3回の音楽公演を実施予定。

開催時期	テーマ案	出演・内容
9月	ボーカロイド音楽	未定
10月	春夏秋冬	未定
2月	創作歌曲	未定

エ Traditional Performance 継ぐこと・伝えること

さまざまな伝統芸能を紹介する公演を開催します。「食」をテーマに、食に関わるゲストを進行に招き、3回開催します。

開催時期	テーマ案	出演・内容
9月	浄瑠璃	未定
10月	落語	未定
2月	日本舞踊	未定

(5) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2016 AUTUMN

前回よりロームシアター京都を会場に加えて開催。例年と同様、舞台公演だけでなく、公式プログラムの一環として展覧会をギャラリーで開催します。

(6) キュレータードラフト2016 ※名称・内容一部変更

若手キュレーターの発掘・支援を目的とし、第一線で活躍するキュレーターによる審査、また審査員によるアドバイスを経て展覧会を実現する企画公募を行います。

会期	審査員	公募期間
2月	難波祐子	平成28年5月1日～6月30日（予定）

(7) 展覧会「新incubation8」

創作手法やテーマ等何らかの共通点を持つ新進若手作家とベテラン作家による展覧会を実施します。童心に立ち返るように日常的な品々を遊戯的に組み合わせてSFアニメや特撮映画のようなスペクタキュラーなシーンをつくりだす二人の作家による展覧会です。

会期	出展作家
5月28日－7月中旬	中田有美、伊藤隆介

3 先駆的・実験的事業

(1) ニュイ・ブランシュ2016

ニュイ・ブランシュ(白夜祭)を10月1日(土)に実施します。平成28年度は、アーティスト・イン・レジデンスで選出したA. lter. Sessioの発表公演を行います。

(2) フェルトシュテルケ・インターナショナル 2017(仮称) (Feldstärke International 2017)

「東アジア文化都市2017」に関連し、平成29年度の開催に向けプログラム立案を行います。平成29年度に中国、韓国との3か国で実施予定です。

(3) 古橋悌二《LOVERS》展(仮称) ※新規

京都を代表するアーティスト・グループ、ダムタイプの故古橋悌二氏の代表作「LOVERS」が修復されたことに伴い、京都市立芸術大学と共同で行う展示。併せてダムタイプの映像上映、トークイベントなどを実施します。

会期	参加作家等
7月4日－24日	古橋悌二、ダムタイプ、高谷史郎、加治屋健司 ほか

4 制作・発表支援事業

(1) 制作支援事業(制作室使用者募集)

美術作品の制作、ダンスや演劇の稽古場等として制作室の使用を希望する芸術家を公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間無料で提供します。年2回(3月及び9月)募集予定です。

(2) 発表支援事業(共催事業募集)

京都芸術センターを、芸術作品の発表の場として活用する事業企画を公募し、審査のうえ会場を提供します。年1回(秋頃)募集予定です。

【情報センター機能】

1 芸術文化情報の収集・発信事業

(1) 図書室の運営

センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

蔵書のうち、目的に見合う図書等約5,000冊、ビデオ等約500本を選択のうえ、閲覧に供し、芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催します。

(2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

(3) 通信紙の発行

京都芸術センター事業の広報をはじめ国内外の芸術文化に関する情報を掲載した通信紙を、芸術関係者・機関、図書室、公共施設等を対象に、毎月発行します。

(4) 京都芸術センターホームページ

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します。

(5) 京都文化芸術オフィシャルサイト <Kyoto Art Box>

国民文化祭・京都2011を契機とし、より多くの方が文化芸術に親しめるよう、京都市の文化芸術全般の情報を集約したホームページを運営します。

※平成27年度からセンター事業の一環として実施

(6) 京都芸術センター叢書

第1巻の「継ぐこと・伝えること」に引き続き、第2巻は小林昌廣氏に講師を依頼している「伝統芸能ことはじめ」を発刊します。また書店と連動しトークイベントも重ねて実施予定です。また第3巻の「演劇計画」の発行に向け、準備、リサーチ、催しを開催します。

2 教育普及事業

(1) 大学・高校等への出張授業

教育普及については、中学生以下を対象とした京都市からの受託事業「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」や、高校、大学を対象として芸術センターの活動内容の紹介等を行うための出張授業を実施します。本年度は新規で銅駝高校への出張授業を実施します。

会期	出演	会場
4月28日	狂言：茂山正邦ほか 落語：桂よね吉ほか	銅駝高校から依頼を受けた芸術鑑賞会 会場：銅駝高校 体育館

(2) インターンシップ・プログラム

8月の約10日間、インターンとして主にアートマネジメントや芸術学を専攻又は志す学生を受け入れます。平成27年度に引き続き、大学コンソーシアム京都と連携して実施します。

【交流センター機能】

1 国際交流事業

(1) アーティスト・イン・レジデンス

国内外の優れた芸術家・芸術関係者を受け入れ、京都芸術センターでの創作活動を支援するとともに、市民や国内の芸術家等との交流を図るレジデンス事業を実施します。平成28年度は、応募82件(33カ国)の中から、1組のアーティストを受け入れるほか、Kyoto. Kelon (ドイツ・ケルン)、videobrasil (ブラジル・サンパウロ) との連携で各1組のアーティストを受け入れ、Seoul Dance Center (韓国・ソウル)、A4 Contemporary Arts Center (中国・成都) との連携のもと、エクステンジプログラムを実施します。

滞在期間	氏名	ジャンル	居住国	区分
8月1日～10月中旬	A. lter. Sessio	ダンス	フランス	公募
6月6日～6月27日 2月～3月	Michael Maurissens ※Kyoto A. I. R. Alliance Program; Kyoto×Köln	ダンス	ドイツ	招へい (KYOTO. KOLN)
2017年1月中旬 ～4月中旬	Maya Watanabe	美術	チリ	招へい (videobrasil)
未定	未定	美術	中国	公募・連携 (A4 Contemporary Arts Center)
未定	未定	ダンス	韓国	公募・連携 (Seoul Dance Center)

※ Maya Watanabeについては、ギャラリーでの成果発表展を平成29年4月に開催予定。

(2) Kyoto A. I. R. Alliance Program; vol.1 Kyoto×Köln

ケルンからアーティストを招聘し、京都のアーティストとともに共同制作・発表を行います。制作した作品は平成28年度以降にケルンでの発表も目指します。特に京都の他のレジデンス施設、団体と協働し、京都全体で行うレジデンス・プログラムとして、新しい方式を試行します。

(3) アーティスト・イン・レジデンス連携事業 (再掲)

京都市からの受託事業として、京都市内及び国内外のアーティスト・イン・レジデンスとのネットワーク構築のための事業を実施します。シンポジウムなどを開催する予定です。

2 市民及び芸術家相互の交流事業

(1) 夏休み企画展

子どもも大人も楽しめる展覧会企画を開催します。

会期	展覧会名	内容
7月26日～9月11日	「イメージの空間：新しい風景への旅立ち」(仮)	岩崎貴宏、久門剛史

(2) 明倫レコード倶楽部

SPレコードを使用するレコード音楽鑑賞会を4回、番外編としてLPレコードを使用する会を2回開催します。講師はいしいしんじ ほか。 ※ 参加費：500円 (番外編は無料)

(3) 京都市交響楽団アンサンブルコンサート Kyo×Kyo Today vol. 7

京都芸術センターの会場の雰囲気を活かし、演奏者と聴衆が近い距離で音楽を楽しむ演奏会を、京都市交響楽団との共同主催事業として開催します。 ※開催日：2月3日

(4) 素謡の会

能楽に気軽に触れてもらうために、毎年テーマを設定して曲目を取り上げ、素謡の上演、曲の解説を行います。

平成28年度は、前年度に引き続き田茂井廣道氏のナビゲートにより、能の過去から現在を考えるプログラムを実施します。復曲能から新作能まで4つの演目を取り上げるほか、演目ゆかりの地で<謡曲ひとめぐり>を開催します。

開催日	演目	出演者
6月28日	復曲もしくは古来の形を留めている能	梅若玄祥、大蔵源次郎、河村晴道、 味方健、田茂井廣道ほか
9月15日	戦乱の世に愛された能	
12月14日	三島由紀夫or観世寿夫が愛した能	
1月26日	美内みすずが愛した能、新作能『紅天女』	

※ 料金 前売1,500円 当日1,800円 年間席札5,000円

<謡曲ひとめぐり>

世阿弥作『誓願寺』を取り上げ、その舞台となった場所を訪れ、ゲストトークやお茶も交えて、素謡と仕舞を上演します。

開催日：3月を予定 会場：誓願寺を予定 料金：3,000円 定員：30名

(5) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施します。

(6) 明倫アワー

建島館長が毎回ゲストを迎え、旬なトピックで話をします。年4回程度実施します。

3 地域・学術・産業との連携事業

(1) ダンス事業 (Dance 4 All)

これまでのDance 4 Allをまとめた記念誌を編纂・発行します。

(2) 主な地元関連事業

開催日	事業名
5月27日	ペトロフ・ピアノコンサート
11月25日	(主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会
1月27日	
11月18~20日	明倫フェスタ (主催)明倫自治連合会

(3) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロンいっぷくなどの実施を通じて、センターとボランティアの方々との交流をさらに深めます。 ※ 登録者数：295名 (平成28年3月現在)

4 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術ネットワークを運営します。平成27年度より京都芸術センター事業として実施しています。総会1回、例会複数回を予定。

開催時期	事業名
5月又は6月	ディスカッション「京都の現代カルチャーと芸術の未来」(仮)